平成 30 年度　北秋田市総合戦略検証会議
検証会議委員による意見・提言集

参考資料：第 2 次北秋田市総合計画・北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略目標値達成状況（平成 29 年度版）

平成 30 年度　北秋田市総合戦略検証会議による意見・提言

＜北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略＞

基本目標１　産業振興による仕事づくり

- 首都圏で雇用募集を行うと、興味があるという方はいるが、「地域の繋がり」や「住まいを探すこと」が大変で実際の就職までは中々結びつかない。市営住宅に単身者は入居できないため、単身移住者でも入居可能な住宅制度の整備が必要である。
- この広い市内の林道を全て補修し、管理を行うというのは大変であるので、例えば、重要な部分については集中して管理するという方法を行ってはどうか。
- 大学や専門学校へ進学するために市外・県外に出た場合、卒業後に北秋田市に戻ってくる人数はあまり多くない。この若者が市に戻って来たくなるような施策を期待したい。
- クウィンス森吉が予定通りオープンしていれば、紅葉シーズンに間に合い、多数の観光客の宿泊を見込めたのでないか。
- 阿仁合駅が改修されたことで大変快適である。Ｗｉ－Ｆｉが整備されているというのも便利である。
- 阿仁合駅がせっかく整備されたのだから、観光客に「素通り」されないために何か観光の目玉があればよいと思う。
- 市内には団体旅行客を受け入れできる施設が無い。
- 様々な事業所では総じて「仕事はあるが、働き手がいない」との認識。仕事を探す側からすると「給料が低いから」ということであるので、このような現状を改善させるためにはどうしたらよいかということを検討いただきたい。

基本目標２　移住・定住対策

- 「将来も学校がそこにある」ということをＰＲすることで移住者の増加に繋がっているケースもある。小さい学校を統合していくよりも、どうやってその地域の機能を維持していくかという構想が必要。
- 市営住宅への入居は前年の所得で判断されるため、都会からの移住希望者は働いていた際の所得額によりほとんどが所得制限のため入居できない。市営住宅ではない別の形で移住者用の住宅を貸し出す制度を整備してはどうか。
- 移住者が住宅を探す場合、「空き家バンク」を探すことも多いが、空き家バンクは住むことが可能な状態でなければならない。傷んでいる箇所がある場合は住宅の持ち主が直してからでないと登録できず、空き家バンクに登録できるような住宅はほとんど無い。空き家バンクとは違う仕組みによる移住者への住宅の紹介を考える必要があると思う。
- 首都圏で雇用募集を行うと、興味があるという方はいるが、「地域の繋がり」や「住まいを探すこと」が大変で実際の就職までは中々結びつかない。市営住宅に単身者は入居できないため、単身移住者でも入居可能な住宅制度の整備が必要である。（再掲）
- 大学や専門学校へ進学するために市外・県外に出た場合、卒業後に北秋田市に戻ってくる人数はあまり多くない。この若者が市に戻って来たくなるような施策を期待したい。（再掲）

基本目標３　少子化対策

- 北秋田市にとって少子化対策が喫緊の課題だと思う。市として子育て世代をどのようにサポートしていこうとしているのか方向性が見えてこない。
- 「仕事と育児・家庭の両立」や「育児休暇制度等」について、子育て環境整備に取り組む事業所の表彰など、事業所への啓発や協力の呼び掛けなどの取り組みが見えてこない。
- 子どもの数が特に少なくなっているが、何らかの配慮が必要な子どもや喘息や耳、鼻などの気管の弱い子どもの数も非常に増えている。ほとんどがタバコの受動喫煙が原因であると言われている。市としても、このような時代背景を鑑みたうえで、計画を考えていかなければならないと思う。
- 出産後のお母さんのケアについて、最近の子育て世帯は核家族が多く地域との繋がりが少ないため、出産前や出産後に悩みを相談できないお母さんが多い。こういった不安を取り除いてあげるのも、安心・安全に生活できる環境づくりに繋がると思う。

基本目標４　新たな地域社会の形成

- 市にとって「クマ」は１つの特徴である。市としてクマの専門職員の採用を行ってはどうか。クマのことがわかる若手を育てていかないといけないのではないか。
- 現実として、クマによる被害についてはこの地域において大きな問題なので、何か対策をたててほしい。
- 市の取り組みについて、市民に対しもっと周知するべきだと思う。このように集まって話をしているということも市民の多くは知らない。市が現在このようなことに取り組んでいる、ということを市民に周知し、市民みんなで考えていったらよいと思う。
- 路線バスへの乗車人数が減少しているというのが残念。何らかの対策を考えないといけない。
- 火災報知器の未設置世帯数について、法的に設置が義務付けられているものなので、ある程度強制的にでも改善するようにしなければならないのではないか。

＜その他＞

- 健診の受診率があまりにも低い。受診率を上げるため、例えば、過去３年間、未受診の方をリストアップし、自治会長や民生委員を通じて受診を促してもらってはどうか。
- 実施事業の数が多すぎるため、重要なものに絞ったほうが良い。予算や労力は限られているため、費用対効果、労力対効果を踏まえた対応策を検討してはどうか。
- 校外学習に力を入れていると感じている。ぜひ推進してもらい、地域の子ども達の愛郷心を育くみ、将来の北秋田市を担う人材育成に繋げてほしい。
- 障がい者や高齢者の介護などを在宅で行う場合はどうしてもヘルパーが必要になってくる。しかし、市内のヘルパーの数が不足しており、お願いできなくて悩んでいる市民が多数いる。
- 消防団員数について。団員の数が年々減少している対策として定年を延長してはどうか。
- 自己分析の部分について、目標数値を「達成している」、「達成していない」という書き方では、意味があまりない。「こういう事業を行ったためにこの数値となっている。」という書き方をしなければいけない。
- 目標値の設定に無理がある項目がいくつかある。背伸びするのではなく、実態に合わせて「減らす」ということも必要ではないか。

第2次北秋田市総合計画・北秋田市まちひとしごと創生総合戦略
目標値達成状況（平成29年度版）

総合戦略

	基本目標1　産業振興による仕事づくり		29年度目標値	29年度実績値	達成
1	Ⅰ　新規農林業就業者数【累計】	農林課農業振興係、林業振興係	27人	42人	○
2	Ⅱ　地元雇用及び正規雇用者増加者数【累計】	商工観光課商工労働係	18人	44人	○
3	A　農業生産法人【累計】	農林課農業振興係	28法人	30法人	○
4	B　認定農業者数（個人のみ）【累計】	農林課農業振興係	265名	244名	
5	C　新規就農者数（単年度）【累計】	農林課農業振興係	6人	7人	○
6	D　効率的かつ安定的な農業経営（個別経営体・組織経営体）が地域における農用地の利用に占める面積のシェア【累計】	農林課農業振興係	79．0%	78．6%	
7	E　比内地鶏飼養羽数	農林課農業振興係	97，540羽	84，700羽	
8	A　森林経営計画策定率【累計】	農林課林業振興係	38．0%	34．0%	
9	B　計画的な施業実施率【累計】	農林課林業振興係	57．7%	33．0%	
10	C　林業事業所新規従業員数【単年】	農林課林業振興係	3人	9人	○
11	D　（民有林における国県市補助の）造林面積【累計】	農林課林業振興係	368．7ha	451．11ha	○
12	E　（民有林における市単独補助の）作業道延長【累計】	農林課林業振興係	32，351m	33，837m	○
13	F　路網整備率（林道及び林業専用道）【累計】	農林課林業振興係	74．9%	75．3%	○
14	A　商店街通行量（コムコム前）【単年】	商工観光課商工労働係	870人	1190人	○
15	B　中心市街地の新規出店店舗数【累計】	商工観光課商工労働係	9店舗	11店舗	○
16	C「とれたて村」の年間販売額【単年】	商工観光課商工労働係	1，200千円	1，212千円	○
17	D　普段の買い物で地元商店を週1～2回以上利用する市民の割合【単年】	商工観光課商工労働係	58．5%	37．7%	
18	E　小売業事業所数【累計】	商工観光課商工労働係	363事業所	―	－
19	F　小売業事業所年間販売額【単年】	商工観光課商工労働係	39，836百万円	―	－
20	A　観光客数【単年】	商工観光課観光振興係	1，526千人	1，151千人	
21	B　年間宿泊客数【単年】	商工観光課観光振興係	72，146人	48，880人	
22	C　観光消費額（宿泊客1人当たりの消費額）【単年】	商工観光課観光振興係	28，000円	26，393円	
23	D　森吉山阿仁スキー場年間ゴンドラ利用者数【単年】	商工観光課観光振興係	49，705人	46，844人	
24	E　観光案内人数【累計】	商工観光課観光振興係	76人／5団体	71人／6団体	
25	A　資格取得支援助成金活用による資格取得者数【単年】	商工観光課商工労働係	49人	44人	
26	B　増設事業所件数【累計】	商工観光課商工労働係	5件（平成31年度目標）	3件	
27	C　新規進出事業所数【累計】	商工観光課商工労働係	3事業所	2事業所	
28	D　製造品出荷額【累計】	商工観光課商工労働係	2，675百万円	―	－
			目標達成項目	44.0%	(11/25)

	基本目標2　移住・定住対策		29年度目標値	29年度実績値	達成
29	Ⅰ　行政が窓口となった年間移住者数【平成27年度以降の累計】	総合政策課政策係	9世帯30人	54世帯65人	○
30	A　移住定住相談者数【累計】	総合政策課政策係	26人	154人	○
31	B　体験移住参加者数【累計】	総合政策課政策係	13人	80人	○
32	C　移住定住情報提供登録者数【累計】	総合政策課政策係	24人	44人	○
			目標達成項目	100.0%	(4/4)

第2次北秋田市総合計画・北秋田市まちひとしごと創生総合戦略
目標値達成状況（平成29年度版）

	基本目標3　少子化対策		29年度目標値	29年度実績値	達成
33	Ⅰ　出生数【単年】	福祉課こども福祉係	141人	124人	
34	Ⅱ　婚姻数【単年】	総合政策課政策係	96組	71組	
35	A　出生に占める低出生体重児の割合【単年】	医療健康課健康推進係	5．6%	10．9%	
36	B　子育て中の母の気持ちや体調が良い割合【単年】	医療健康課健康推進係	81．3%	79．1%	
37	C　子育てに関して気軽に相談できる人がいる保護者の割合【単年】	福祉課こども福祉係	92．7%	54．2%	
38	D　地域の子育て支援の環境や支援の不満度【単年】	福祉課こども福祉係	20．4%（就業前） 19．4%（小学校）	－	－
39	E　子育てしやすいまちだと答えた市民の割合【単年】	福祉課こども福祉係	45．8%	59．7%	○
40	A　市の審議会、委員会等への女性参画率【単年】	総務課総務係	31．0%	32．0%	○
41	B　市役所における女性管理職員の割合【単年】	総務課総務係	7．0%	4．3%	
42	C　女性就業率【単年】	生活課地域推進係	42．6%	43．1%	○
			目標達成項目	33.3%	(3/9)

	基本目標4　新たな地域社会の形成		29年度目標値	29年度実績値	達成
43	Ⅰ　地域が住みやすいという市民の割合【単年】	生活課地域推進係	74．1%	69．6%	
44	A　集落の自立活性化（元気ムラ）活動に取り組む自治会の数【累計】	生活課地域推進係	9団体	8団体	
45	B　活発に活動が行われている自治会（町内会）の割合【単年】	生活課地域推進係	33．3%	65．0%	○
46	C　地域活動に何か参加している市民の割合【単年】	生活課地域推進係	72．8%	70．3%	
47	A　北秋田市民ふれあいプラザ利用者数【単年】	生涯学習課生涯学習係	51，644人	66，114人	○
48	B　自主講座への移行数【単年】	生涯学習課生涯学習係	10講座	4講座	
49	C　自主講座の講師を担当する市民の数【累計】	生涯学習課生涯学習係	125人	62人	
50	D　知識や教養、趣味等自発的に学習する市民の割合【単年】	生涯学習課生涯学習係	63．7%	48．6%	
51	E　学校支援地域コーディネーター数【累計】	生涯学習課生涯学習係	36人	32人	
52	F　学校支援地域ボランティア数【累計】	生涯学習課生涯学習係	20，900人	21，680人	○
53	A　公営住宅等のバリアフリー化の割合【累計】	都市計画課都市計画住宅係	59．6%	46．3%	
54	B　公営住宅等の入居率（入居戸数／全戸数）【累計】	都市計画課都市計画住宅係	95．2%	83．2%	
55	C　空き家率【単年】	総務課危機管理係	15．0%	不明	－
56	D　住宅耐震化率【累計】	都市計画課都市計画住宅係	64．0%	62．0%	
57	E　地域による管理が行われている公園箇所数【累計】	都市計画課都市計画住宅係	3か所	2か所	
58	A　自宅の除雪について特に困っていることがない市民の割合【単年】	建設課管理係	23．4%	25．3%	○
59	B　自治会や近所の方と協力して（間口や）道路、歩道、自治会館やゴミ集積所等の除雪作業を行っている市民の割合【単年】	高齢福祉課高齢福祉係	43．3%	42．3%	
60	C　地域除排雪支援団体（仮）の組織数【累計】	高齢福祉課高齢福祉係	9団体	8団体	
61	A　秋田内陸線の乗車人数【単年】	内陸線再生支援室	342，698人	275，587人	
62	B　路線バス・デマンドタクシーの輸送人員数【単年】	総合政策課政策係	240，000人	149，428人	
63	C　大館能代空港利用者数【単年】	総合政策課政策係	125，803人	138，584人	○
64	A　災害に備えて何かしら準備をしている市民の割合【単年】	総務課危機管理係	56．2%	49．5%	
65	B　防災情報メール登録者数【累計】	総務課危機管理係	2，795人	2，083人	
66	C　自主防災組織の結成数【累計】	総務課危機管理係	90団体	38団体	
			目標達成項目	21.7%	(5/23)
			総合戦略合計	37.7%	(23/61)

第2次北秋田市総合計画・北秋田市まちひとしごと創生総合戦略
目標値達成状況（平成29年度版）

総合計画 （目標値は平成32年度でのものです）

	1 健康で仕事にはげむ活力あるまちづくり		32年度目標値	29年度実績値	達成
67	ア 市内の医療体制について整っており満足している市民の割合	医療健康課地域医療対策室	63. 0%	60. 5%	
68	イ 市民病院の常勤医師数 ※非常勤医師等数を含む常勤医師換算数	医療健康課地域医療対策室	22人	18. 98人	
69	ウ 北秋田市民病院満足度（職員の対応）	医療健康課地域医療対策室	85. 0%	87. 0%	○
70	ア 健診受診率（特定健診）	医療健康課健康推進係	60. 0%	26. 9%	
71	イ がん検診受診率（5 大がん検診受診率の平均）	医療健康課健康推進係	50. 0%	8. 2%	
72	ウ メタボリックシンドロームとその予備軍の割合	医療健康課健康推進係	20. 9%	13. 4%	
73	エ 自分のことを健康だと思う市民の割合	医療健康課健康推進係	70. 0%	60. 0%	
74	オ 健康診断を受けている市民の割合	医療健康課健康推進係	50. 0%	20. 2%	
			目標達成項目	12.5%	(1/8)

	2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり		32年度目標値	29年度実績値	達成
75	ア 支援調整会議における検討者数、自立者数【累計】	福祉課地域障がい福祉係	20人	35人	○
76	イ ひきこもり解消（社会参加、就労）数【累計】	福祉課地域障がい福祉係	151人	21人	
77	ウ 悩みや不安を相談できる人がいる市民の割合	福祉課地域障がい福祉係	95. 0%	88. 6%	
78	ア 要介護・要支援認定を受けていない後期高齢者（75歳以上）の割合	高齢福祉課介護保険係	68. 0%	68. 7%	○
79	イ 要介護・要支援認定を受けていない前期高齢者（65歳～74歳以下）の割合	高齢福祉課介護保険係	97. 0%	96. 7%	
80	ウ 悩みや不安を相談できる人がいないと答えた60歳以上の市民の割合	高齢福祉課地域包括支援センター	5. 0%	15. 0%	
81	エ 家族の世話や介護に不安を感じると答えた市民の割合	高齢福祉課地域包括支援センター	26. 0%	34. 2%	
82	ア 福祉施設入所者数【累計】	福祉課地域障がい福祉係	139人	144人	
83	イ 福祉施設から一般就労への移行者数【累計】	福祉課地域障がい福祉係	1人	5人	○
84	ウ 就労移行支援事業の利用者数【累計】	福祉課地域障がい福祉係	11人	1人	
85	エ 公共施設バリアフリー率【累計】	福祉課地域障がい福祉係	50. 0%	21. 0%	
			目標達成項目	27.3%	(3/11)

	3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり		32年度目標値	29年度実績値	
86	ア 学校生活に満足している児童（生徒）の割合	学校教育課義務教育係	70. 0%（小4～6年平均） 65. 0%（中1～2年平均）	70. 7%（小4～6年平均） 59. 5%（中1～2年平均）	
87	イ 学校支援地域本部の設置割合	学校教育課義務教育係	100%	100. 0%	○
88	ウ 県学習状況調査における正答率	学校教育課義務教育係	県平均+5～10%	小4 ＋2.0% 小5 ＋1.6% 小6 －0.4% 中1 ＋2.5% 中2 ＋9.3%	
89	ア 伊勢堂岱遺跡を見学したことがある市民の割合	生涯学習課文化係	50. 0%	29. 7%	
90	イ 伊勢堂岱遺跡に関する市のイベントや関連団体に参加するなど既に協力している市民の割合	生涯学習課文化係	2. 0%	1. 6%	
91	ウ 芸術文化協会の加入団体数【累計】	生涯学習課文化係	120団体	109団体	
92	エ 祭りや伝統芸能等、地域行事に参加したことがある市民の割合	生涯学習課文化係	32. 0%	26. 7%	
93	オ 芸術や文化等、グループ活動に参加したことがある市民の割合	生涯学習課文化係	13. 0%	6. 4%	
94	ア スポーツ施設利用者数【単年】	スポーツ振興課スポーツ係	240, 000人	217, 433人	
95	イ チャレンジデー参加率【単年】	スポーツ振興課スポーツ係	50. 0%	60. 0%	○
96	ウ 運動・スポーツを月に数回以上する市民の割合	スポーツ振興課スポーツ係	50. 0%	40. 5%	
97	エ 体育協会所属団体・人数【累計】	スポーツ振興課スポーツ係	23団体、1, 800人	23団体1, 844人	○
			目標達成項目	25.0%	(3/12)

第2次北秋田市総合計画・北秋田市まちひとしごと創生総合戦略
目標値達成状況（平成29年度版）

	4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり		32年度目標値	29年度実績値	達成
98	ア 家庭ごみ1 日1 人あたりの排出量【単年】	生活課環境係	690.1g／人・日	681g／人・日	○
99	イ 総資源化率（リサイクル率）【単年】	生活課環境係	15．4%	12．8%	
100	ウ 不法投棄件数【単年】	生活課環境係	40件	74件	
101	エ クリーンアップ活動に参加している市民の割合	生活課環境係	16．7%	15．3%	
102	ア 節電や節水等、地球温暖化防止につながる取り組みをしている市民の割合	生活課環境係	75．0%	65．1%	
103	イ 公共施設（市直営施設）におけるCO2 排出量【単年】	生活課環境係	63，000t-CO2	14，508t-CO2	○
104	ア 市道の改良率【累計】	建設課工務係	80．0%	78．1%	
105	イ 市道の舗装率【累計】	建設課工務係	73．0%	71．5%	
106	ウ 緊急度が高い道路の舗装改良率【累計】	建設課工務係	85．5%	73．7%	
107	エ 緊急度が高い橋梁数【累計】	建設課工務係	0橋	0橋	○
108	ア 水洗化率【累計】	上下水道課下水道係	75．0%	64．2%	
109	イ 経費回収率【単年】	上下水道課下水道係	50．9%	62．2%	○
110	ウ 合併処理浄化槽設置基数【累計】	上下水道課下水道係	1，111基	1，014基	
111	ア 有収率（上水、簡水）	上下水道課業務係	82．0%（上水） 82，0%（簡水）	73．87%（上水） 80，1%（簡水）	
112	イ 供給単価−給水原価（上水、簡水）	上下水道課業務係	15．00円／㎥（上水） △5．00円／㎥（簡水）	18．45円／㎥（上水） △60．43円／㎥（簡水）	
			目標達成項目	26.7%	(4/15)

	5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり		32年度目標値	29年度実績値	達成
113	ア 救命講習会を受講したことがある市民の割合	消防本部	60．0%	54．5%	
114	イ 火災報知機未設置の世帯数【累計】	消防本部	0%	15．3%	
115	ウ 火災発生件数【単年】	消防本部	15件	16件	
116	エ 火災による死者数【単年】	消防本部	0人	0人	○
117	オ 救急救命士数【累計】	消防本部	30人	29人	
118	カ 消防団員数【累計】	消防本部	756人	686人	
119	ア 交通指導隊・防犯指導隊員数【累計】	生活課地域推進係	80人	74人	
120	イ 交通事故件数（人身事故件数）【単年】	生活課地域推進係	50件	37件	○
121	ウ 年間死傷者数【単年】	生活課地域推進係	30人	37人	
122	エ 交通事故死者数【単年】	生活課地域推進係	1人	1人	○
123	オ 犯罪件数（刑法犯認知件数）【単年】	生活課地域推進係	55件	62件	
124	ア 消費生活に関する講座、研修会参加者数【単年】	生活課地域推進係	50人	84人	○
125	ア 職員数【累計】	総務課総務係	467人	487人	
126	イ 実質公債費比率【単年】	財政課財政係	14．2%	9．2%	○
127	ウ 将来負担比率【単年】	財政課財政係	85．0%	57．0%	○
128	エ 債権等（市税・負担金・使用料等）収納率【単年】	総務課総務係	98．0%	97．0%	
129	オ 市役所職員の窓口や電話での対応が良いと答えた市民の割合	総務課総務係	60．0%	60．7%	○
130	カ ホームページの年間アクセス件数【単年】	総合政策課広報係	532，000件	554，231件	○
131	キ 何かしら市政情報を得ている市民の割合	総合政策課広報係	98．0%	94．0%	
			目標達成項目	42.1%	(8/19)
			総合計画合計	23.2%	(19/65)

※単年度の実績がない項目は対象外としています。